

**未来社会創造事業 探索加速型探索研究**  
**事後評価結果**

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

生活環境に潜む微量な危険物から解放された安全・安心・快適なまちの実現

3. 研究開発課題名

ウイルスを気相で特異的に検出する基盤技術の開発

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

池袋 一典(東京農工大学 大学院工学研究院 教授)

5. 評価結果

評点: A (優れている)

総評:

本研究開発課題は、気相でウイルスを特異的に検出することにより、生活空間に潜む脅威をリアルタイムでモニタリングできる画期的な技術の開発を目指すものである。

探索研究期間では、ウイルスの外殻タンパク質であるヘマグルチニンと結合するDNAアプタマーの結合能評価を成し遂げるとともに、結合能を格段に向上させる手法を開発したことを評価する。

また、気相中での標的分子とアプタマーの結合を、蛍光を利用して解析する新しい手法を開発するなど、優れた成果が認められた。

今後は、ウイルス検出技術の実用化に向けて研究開発が発展することを期待する。

以上